

三井住友海上駿河台ビルおよび駿河台新館

所在地：千代田区神田駿河台3-9、3-11-1 登録者：三井住友海上火災保険株式会社

◆完成年月 本館 1984年3月 ◆敷地面積 17,387㎡ ◆緑地面積 5,412㎡ (うち樹木面積 5,412㎡)
新館 2012年2月

◆URL：<http://www.ms-ins.com/company/csr/environment/afforestation/>

三井住友海上の本社ビルである駿河台ビルでは、1984年の竣工当初より大規模な屋上庭園を設置するとともに、2012-13年の駿河台新館の建設、駿河台ビルの改修では「"いきもの"と"まち"との共生」をコンセプトに掲げ、常に時代をリードする緑づくりに取り組んでいます。

具体的には、皇居と不忍池の間に位置する駿河台ビルが両拠点を往来する野鳥の羽休め場所となるように、緑量を増加するとともに、過去からの野鳥観察データをもとに誘致目標種を設定し、その野鳥が好む在来種や、チョウなどを誘引する蜜源植物などを一本ずつ選定しました。その結果、ヤマガラやシメなど、以前は見られなかった野鳥が飛来するようになりました。

維持管理においても予防的な薬剤散布は行わず、病虫害の発生時には生物農薬により対応しています。また、専門家による生きもののモニタリングや土壌診断を実施して、植栽や維持管理に反映させています。さらに、アレルギー等の人体への影響について配慮した樹種選定や管理を行うなど、人の往来が多い、都心の緑地としてある



在来種による混ぜ垣など工夫を凝らした植栽



ECOM 駿河台



駿河台ビルを囲む緑地と屋上庭園

べき姿を模索しています。

新館横にある ECOM 駿河台(コミュニケーションスペース)では、年間を通じて生物多様性に関するイベントや展示を行うなど、近隣住民や小学生、来訪者、社員などに自然を身近に感じる機会を提供しています。

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2017年9月登録)



在来種植栽情報

○面積割合

高木 55 %
中木及び低木 48 %

○在来種の種数

高木 31 種
中木及び低木 54 種

○おもな樹種

ヤマモモ、タブノキ、エゴノキ、ムクノキ、エノキ、ニシキギ、ヤマブキほか